

入江 金メダル

鳥取県勢初の快挙



女子フェザー級決勝 優勝を決め喜ぶ入江聖奈(両国国技館)

五輪ボクシング 日本女子初

東京五輪特別号外

日本海新聞

発行所
新日本海新聞社
〒680-8608 鳥取市宮安2丁目137
電話(0857)21-2888(代表)
西部本社
〒683-8520 米子市南三柳3060
電話(0859)34-8811(代表)
中部本社
〒682-8505 倉吉市上井町1丁目156
電話(0858)26-8300(代表)
郵便振替 01470-7-8099
©新日本海新聞社 2021

日本海新聞購読お申し込みは



本社 0120-2314141 西部 0120-3311405
中部 0120-2618330 但馬 0120-8214541

(受付時間 9:00~18:00)
(日曜祝日・年末年始除く)

決勝、判定5-0圧勝

東京五輪第12日の3日、ボクシング女子フェザー級決勝で入江聖奈(米子西高―日体大)がネスティ―・ペテシオ(フィリピン)に5-0で判定勝ちし、金メダルを獲得した。鳥取県勢の金メダル獲得は初めて。1992年バルセロナ大会男子マラソンの森下広一(八頭町出身、現トヨタ自動車九州陸上部監督)の銀メダルを上回った。

ボクシングの女子種目は2012年ロンドン大会から正式採用され、日本勢は今回初めて出場権をつかんだ。入江は日本女子として史上初の金メダルを獲得した。

ボクシング女子フェザー級

入江聖奈 いりえ せな

金 世界選手権ベスト8、
右オーソドックスファイター

- 2000年10月9日生まれ(20歳)
- 鳥取県出身
- 身長164cm



■入江聖奈プロフィール

鳥取県米子市出身。米子西高出身、日体大。地元のシュガーナックルボクシングジムで小学2年から競技を始める。小学5年から中学3年まで全国大会を5連覇。2018年に日本選手権女子フェザー級、高校選抜ライト級で優勝。世界ユース選手権はフェザー級で3位に入った。大学進学後の19年にアジア選手権、世界選手権のフェザー級で8強入り。20年3月の東京五輪アジア・オセアニア予選で出場権を獲得。準優勝に輝いた。

20歳聖奈、よくやった

地元米子、歓喜



女子フェザー級決勝 1回、フィリピン選手(右)を攻める入江聖奈(両国国技館)



女子フェザー級準々決勝 1回、ルーマニアのマリアクラウディア・ネクタ(右)を攻める入江聖奈(7月28日、両国国技館)

準々決勝

判定勝ち(3-2)

VS マリアクラウディア・ネクタ(ルーマニア)

女子フェザー級1回戦 3回、エルサルバドルのヤミレト・ソルサノ(左)を攻める入江聖奈(7月24日、両国国技館)



1回戦

判定勝ち(5-0)

VS ヤミレト・ソルサノ(エルサルバドル)



女子フェザー級準決勝で英国選手(左)を破り、ガッツポーズする入江聖奈。銀メダル以上が確定した(7月31日、両国国技館)

準決勝

判定勝ち(3-2)

VS カリス・アーティングストール(英国)

女子フェザー級2回戦で勝利し、笑顔で引き揚げる入江聖奈(7月26日、両国国技館)



2回戦

判定勝ち(5-0)

VS フルド・ヒルミエプムラヒ(チュニジア)